

福井商工会議所青年部 会報

# 福居



会 報

第 37 号

昭和63年 6月24日発行

発 行 所

福井商工会議所青年部

発 行 者

永 井 弘 明



## 創ろうふるさと 21世紀への礎

福井県商工会議所青年部連合会

### 会員大会開催

第5回福井県商工会議所

青年部連合会会員大会開催

新緑若葉に映える、さる

五月二十七日(金)福井厚

生年金会館にて、福井県商

工会議所青年部連合会(県

商青連)会員大会が、開催

された。

県商青連結成以来、五度

目の会員大会である。主管

の当青年部としても、当初

よりマンネリ化、形式化に

なりがちな大会ということ

を問題にしていた。実行委

員会(奥村委員長)内で議

論の末、式典はやむを得な

いという判断で、進められ

た。

会員大会に先立つ定期総

会は、各青年部より役員、

代議員が約四十名出席して

開かれた。議事進行は平等

会長のもと、鯖江が担当し

た。

総会において、昭和六十

二年度事業報告並びに収支

決算と昭和六十三年事業

計画並びに収支予算案が審

議され、討議の後満場一致

で可決された。昭和六十

三年度役員改選は原案通り、

敦賀の河瀬一治君が会長に

選任された。なお昨年度の

全国商青連会長を務めた当

青年部の古川伸二君が、県

商青連の相談役に就任した。

当青年部より、理事には

永井弘明君、松村顕君、監

事として竹越治美君がそれ

ぞれ就任した。

総会終了間際、勝山の代

議員より質問があった。そ

の要旨は「青年部会員の内

には零細企業が多く、この

ような会に役員、理事とし

て参加する余裕がないので、

会長以下役員、理事の持ち

回り制は不適當ではないか

か」というものであったが、

この件は、遠隔地を理由に、

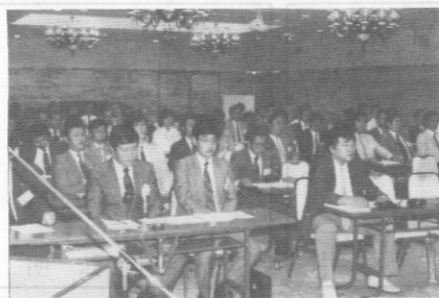
頑なに県商青連に加入を拒

否する青年部(小浜)問題

と共に、新年度の理事会で

検討するよう平等会長が申し送るといふことで、一応決着した。今後の実質的な審議に期待したい。

定期総会終了後、直ちに同会場にて登録会員百五十名で、会員大会が開かれた。登録会員数は、福井六十、武生三十、大野二十、敦賀十七、鯖江十五、勝山十五であったが、実出席は百名そこそこのようであった。この辺りは、日程の面、出席要請の方法を含め、再考の余地がありそうである。ともあれ、式典の司会を務めた当青年部の河村正治君の誠実な人柄そのままに、



周到に準備されたタイムスケジュールが消化された。第二部の記念講演は午後三時二十分より始まった。



講演は、当青年部が様々な活動を通じ貴重なアドバイスをいただいている福井大学工学部教授、玉置伸信氏である。「地域の活性化と青年部の役割」というテーマは、やや地味なきらいはあるが、街づくりを青年部活動の中で高い意義を感じている会員は席を前に移して、熱心に聴講していた。

講演の中に、戦後の福井市の街づくりマスタープランは、すでに昭和七年の都市計画ではほぼ完成していたことが、最近になって発見されたという話があった。このことは、街づくりは、短期的あるいは一時の思いつきで解決できるものでは

なく、中、長期的永続性こそ成功の元であることが再確認された。

また、祭りの問題にも触れられ、福井夏祭りの不振の原因は、民衆の祭りでないことだ、と明確に述べられた。歴史の中では祭りは特に町衆が中心になって培



われたと言うこと。青年部こそ現代の町衆である、という話は、大いに勇気づけられた。

次に、会場を移した懇親会は、ベテラン淡島副委員長の司会で進行された。県商青連河瀬新会長のユニークな挨拶には大いに受

けたようである。ゲストの吉岡J.C理事長の乾杯の発声後、会食が始められた。

アトラクションとして用意されたのは、青年部会員の平均年齢を考慮して？レトロのGSサウンド。なんとこの狙いはズバリ的中したようだ。金沢より招いたグループ「リポリューション」のサウンドに、ノリがよくないと、自他共に認める福井の人たちが、仕掛人も驚く熱狂ぶり。こうしてひと味違った懇親の夕べは、盛況のうちに幕を閉じた。



(卓)

## 小雨降る中 勇壮に越前時代行列

越前時代行列に

参加して

田谷仁一

4月二十九日、雨風の中  
行進は始まった。最悪のコン  
ディションにも拘らず、



大勢の観客がみていることが、私達を元気づけ、胸を張らせた。実をいうと、九時三十分集合して、衣装を着て2時間余りの待機が初めて鎧兜を着けた興奮と感動を薄れさせ、さらに士

気までなくしかけていたのであった。雨に濡れたわらじの紐は切れ



衣装も段々重くなって、冷たい風が私達を吹き付ける。しかし、一歩一歩前進するたびに、歓声と拍手。凱旋しているようで気分はよかった。

当日の行進で気が付いたことは、順化小学校前でのことで、なんの号令もなくただ止まっていただけで、観客からみて、だらしないと思われたのではないでしょうか。

運営については、アナウンスが「柴田勝家隊は商工会議所青年部の人たちです。」と言うのでは、余りにもそっけない感じで、文

化的雰囲気感が乏しく、せめて、歴史的にどのような時代に、どの様に生きたか、ぐらいの説明があつてしかるべきだと思えました。さらに「合戦」とはいかないまでも、なんらかのパフォーマンスがあれば、観客も見飽きないし、武者姿の行列全体が盛り上がるのでは、と思いました。

たまたまこの日、岐阜県のバスツアーが、福井市を訪れ、「時代行列というものがある」と聞いて、観光の時間をさいてみていったそうです。今後は他県に対してPRし、またお客様に座ってみてもらえるような態勢作りなどもえる必要があるのではないのでしょうか。

一般の人々の参加や、いろいろ問題はあると思いますが、ふるさとの歴史をテーマにうまれた行事だけに、さらに工夫を繰り返して、後世に残るような祭りにして欲しいと思います。

各種乾物総合食品卸問屋

株式会社 田中與商店

本社 TEL(代)531108 FAX(53)6848  
中央卸売市場 TEL(53)1128  
敦賀営業所 TEL(25)6758 FAX(25)6158



## (株)福井製作所

本社 福井市幾久町9-5 ☎27-2450  
商事部 福井市高木中央1-1007 ☎53-2650

FAX 53-0166

- タクマボイラ福井県代理店
- ダイキンエアコン販売

青年部 中川芳男(特許管理士)

※ 青年部会員様の新製品開発アドバイス受付ます。

# 足羽三山開発整備 市へ意見書を提出!!

去る五月十四日、永井青年部会長は商工会議所の坪田事務局長と共に福井市の山田開発部部長を訪ね、第十一回市民の広場の報告書並びに足羽三山の開発整備に対する青年部の意見書を提出しました。市からは他に、公園緑地課課長ら関係課長が同席された。

## 「青年部意見書」(要約)

福井商工会議所青年部では「福井市のよりよい街づくり」をテーマに『市民の広場』の開催を重ねてまいりました。今回、昭和63年2月27日開催しました市民の広場は、特徴ある街づくりの創造いわゆる福井らしさの創造という観点より、足羽三山の有効利用を探ることを目的に福井市民合意の意見集約の場として開催したものであります。つきましては、福井市におかれましても、昭和63年度に足羽三山の整備に関する調査事業に着手されることとなっておられますが、これらの事業にあたっては、私どもがこれまでに検討してきた足羽三山の開発コンセプト並びに今回の「市民の広場」に寄せられた意見を十分反映されます事を望むものであります。

## 一、開発コンセプト

①自然と親しむ場  
緑は都市に潤いを与え、人々に心の安らぎをあたえる。現在の足羽三山の放置された緑(自然)でなく、整備された緑(自然)が望まれる。

②人々の集う場  
すべての世代が様々な活用し得る市民憩いの場を実現するために、イベントも展開できる十分なオープンスペースの構築が必要である。

## ③ホスピタリティー

(もてなし)の場  
福井市がコンベンション都市として、動きだそうとしている中、福井へ訪れる人々は今後増えていく。市内において訪れた方々を短時間で案内できる、おもてなしのできる場所として足羽山を活用すべきである。

## 二、開発のキーワード及び具体例

①交通(車両の乗入れ調整、駐車場の位置など)

②景観(山から観る、山を観る)  
景観を考慮した駐車場の山腹への建設

③ゾーニング(三山それぞれに特徴を持たせ、それら有機的につなぐ)  
足羽三山と足羽川、運動公園を一体化する為に、道路で分断されない足羽三山をつなぐ橋の建設と三山を結ぶ遊歩道の整備

④歴史・文化・芸術(自然の中の文化施設群の整備)  
郷土歴史館、自然科学館の充実と連携の強化

⑤国際交流(今後の地方における国際化への対応の場として考慮する)  
姉妹都市広場や交流会場の整備

⑥市民が参加できる(記念植樹など)  
市民の手による記念植樹等ができる市民の森の建設  
市民の総意でつくる市民の山、市民の森にしてゆることが必要である。

## 青年部の活性化をめざす

### 会員アンケート

#### 結果まとめまる

その2

## A、調査の概要

### 一、調査の目的

当青年部の実態と意識を把握し、その問題点を探り、今後のあり方を検討する参考として実施

### 二、調査時期

昭和六十三年一月五日、二月二十五日

### 三、調査対象と方法

当青年部の会員全員にアンケート用紙を郵送して調査を実施

### 四、アンケートの回収状況

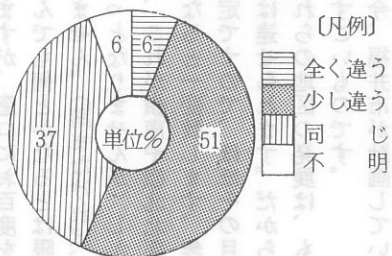
有効回答数 六十二人  
総会員数 九十二人  
回収率 六七・三%

### B、調査結果の分析と要約

文責 林 逸男

四、入会後の青年部の印象  
過半数の人が入会前の期待を何らかの形で裏切られたと見ることができ、多少なりとも違和感を抱く人がこれだけ存在

【入会前後の青年部の印象】

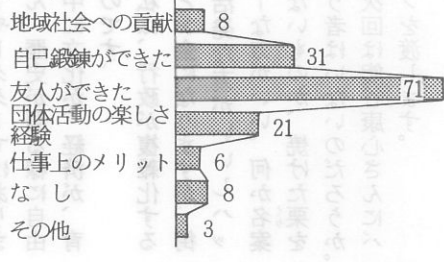


することは、「期待される青年部像」が何であるかを追求することの必要性が痛感されると同時に、重大な問題意識をもつことが肝要といえる。

五、入会してよかった点 (複数回答)

- 友人ができたのをトップに、自己鍛錬、団体活動の楽しさと続いている。しかし、これはグループ活動の一般的な長所であり、何も青年部独自の

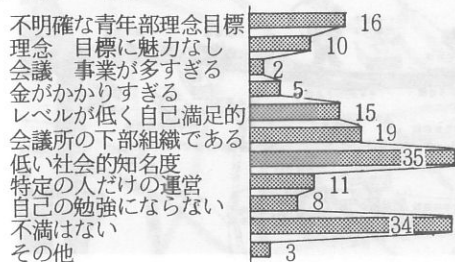
【入会してよかった点】



六、入会して不満に思う点 (複数回答)

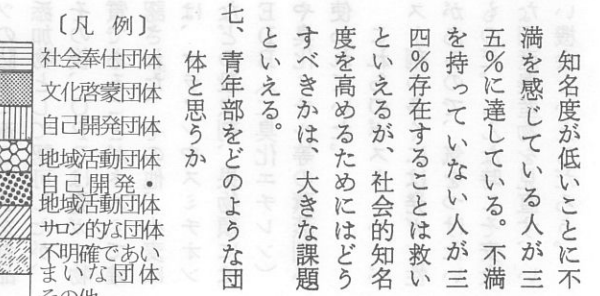
のではあり得ない。青年部でなければ味わえない何かを摸索し確立することが期待されよう。

【入会して不満に思う点】



七、青年部をどのような団体と思うか (複数回答)

自己開発をしながら地域活動を行う団体であるとするのが三八%を占め、自己開発団体、地域活動団体を加えると実に六〇%以上となる。



全国削節工業協会  
削節公正取引協議会会員

**有限会社 太田屋**

代表取締役 太田 啓一  
取締役 太田 公二

本店 福井市高柳町39 TEL.0776-53-2713(代)  
FAX0776-53-7382

営業所 福井市中央卸売市場内 TEL.0776-53-2711

鯉節・花鯉卸・酒類  
冷凍食品・乾物  
業務用食材問屋

IBS の風がトミヒサから

株式会社 トミヒサ IBS  
電気設備事業部

インテリジェント  
ビルディング  
システムズ

福井市大手3-4-1 福井放送会館4F 〒910  
TEL:0776-26-2002代 FAX:0776-26-2462  
(敦賀営業所)  
敦賀市清水2丁目3-24 TEL:0770-22-6068

# リレー随筆

## 自由で活発な

### 街がいい

行政書士  
前田義光事務所

前田 義光

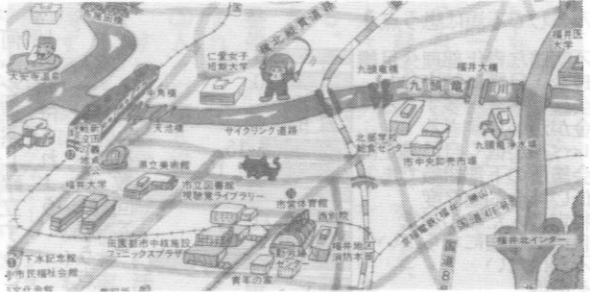
今回、玄内君より随筆を指名されましたが、何時もながら、頭の中が空巢に入られた状態ですので、まともなことは書けません。徒然を書かせて戴きます。

職業柄、「福井市には、進出しにくい」と、企業の責任者より聞かれます。

何故だろうと思つて、ここ数年私が相談を受けた範囲で分析してみました。結論はどうやら、私が専門としている都市計画法にある様です。そう思つて観ているとだんだん福井市の経済沈下が見えてきます。おそらく、ここ数年で生産額・量共に他の市町村に抜かれることと思ひます。二十五万

人そこそこの福井市に線引があることがおかしく、自由なはずの経済が、役所の満足のために押えられている様な気がします。もっと分かりやすくいうと、皆様が、工場または店舗を建築される計画があつたとしても、土地が安く、地区が協力的であつたとしても、福井市では、用途区域だとか調整区域とかの規制で、その目的を達することが出来ません。不可思議なものもありますが、窓口にお百度を踏んでも何とかなるとは限りません。(踏まなければ、もつとなりませんが)しかし、これが嶺南や嶺北北部となると一変致します。無指定ですので、ほぼその目的は達せられます。だから、これらの地区の発展は、ものすごいものです。

今、福井市が計画しているコンベンションシティやホストシティ。いずれも当節流行でハイテクオリテイなものですが、今一度足元を見直す必要があると痛感す



るのは、私一人ではないと思ひます。行政はカウンセラーやドクターではありませぬ。歴史が語る様に自由の中に文化が、経済が、育つのです。

私は、行政が複雑化するほどお金になります。街は活発な方がいいしハッピーな方がいい。何か名案はないものか、焼けた栗を捨てる者はいないのだろうか。次回は熊谷康心さんにバトンを渡します。

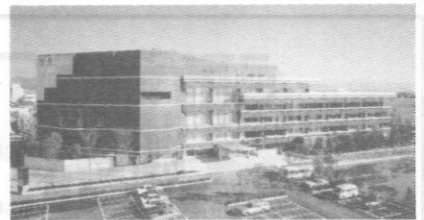
## 危険な輸入農産物

牛肉、オレンジの自由化をめぐって、アメリカの圧力が強まっているが、輸入農産物には気になる問題が潜んでいる。それは収穫した後、出荷する前に使用される、ポスト・ハーベスト剤という薬剤だ。

五十一年、アメリカの圧力に屈して、日本はレモン、オレンジ、グレープフルーツの防カビ剤OPPを食品添加物として認可したが、その後、OPPは発ガン物質であることがネズミで確認された。その他、小麦には、マラソンやスミチオンなどの殺虫剤、果物類にはEDB(二臭化エチレン)や臭化メチル等の薰蒸剤が使われていた。

これらのポスト・ハーベスト剤の多くには発ガン性があるので、気をつけたいものだ。こんな時こそ安全な国産農産物を見直す、いい機会といえるだろう。

グランディア



電話0776-77-2555(代) テレックス 5172-234  
〒910-41 福井県坂井郡芦原町舟津43-26